

これから財政の話をしよう2012 part2


Section1 : 財政錯覚とは？

Section2 : 小金井市の財政分析
福祉関係を重点的に


今日も先生が熱く
お話しちゃうわよ～

今回は新キャラ
続々登場


Section 1 財政錯覚とは



今年も
来たな。



来たぞ。



いよいよね



予算の季節が！

ゴゴゴゴ...



去年はまんまと
野球部にやられたからな。

確かに

テニス部主将 梶野直

テニス部員 野川彼我



まさかの倍額要求。
倍は無理だったが、
大幅に予算を獲得。
テニス部はアオリを
食ったというわけだ。



まったく、生徒会は全然
実態を把握していないんだ。

その通りです！

じゃあ、実態を知られてた方がいいの??

...

.....



そりゃ都合が
悪いけど...



あれ？
今のは誰？



去年ちょっと予算
取りすぎましたね。
結構あまりそうですよ。

野球部 会計係 関野霸希



バカもーん!

ぐはっ

野球部 部長 栗山湧



先輩方が一生懸命取った
予算だというのに、使わなければ
減らされるではないか。

こういうときは、遠征とか、
なにかあるだろ!



そうそう、久しぶりにどう
試合とか。

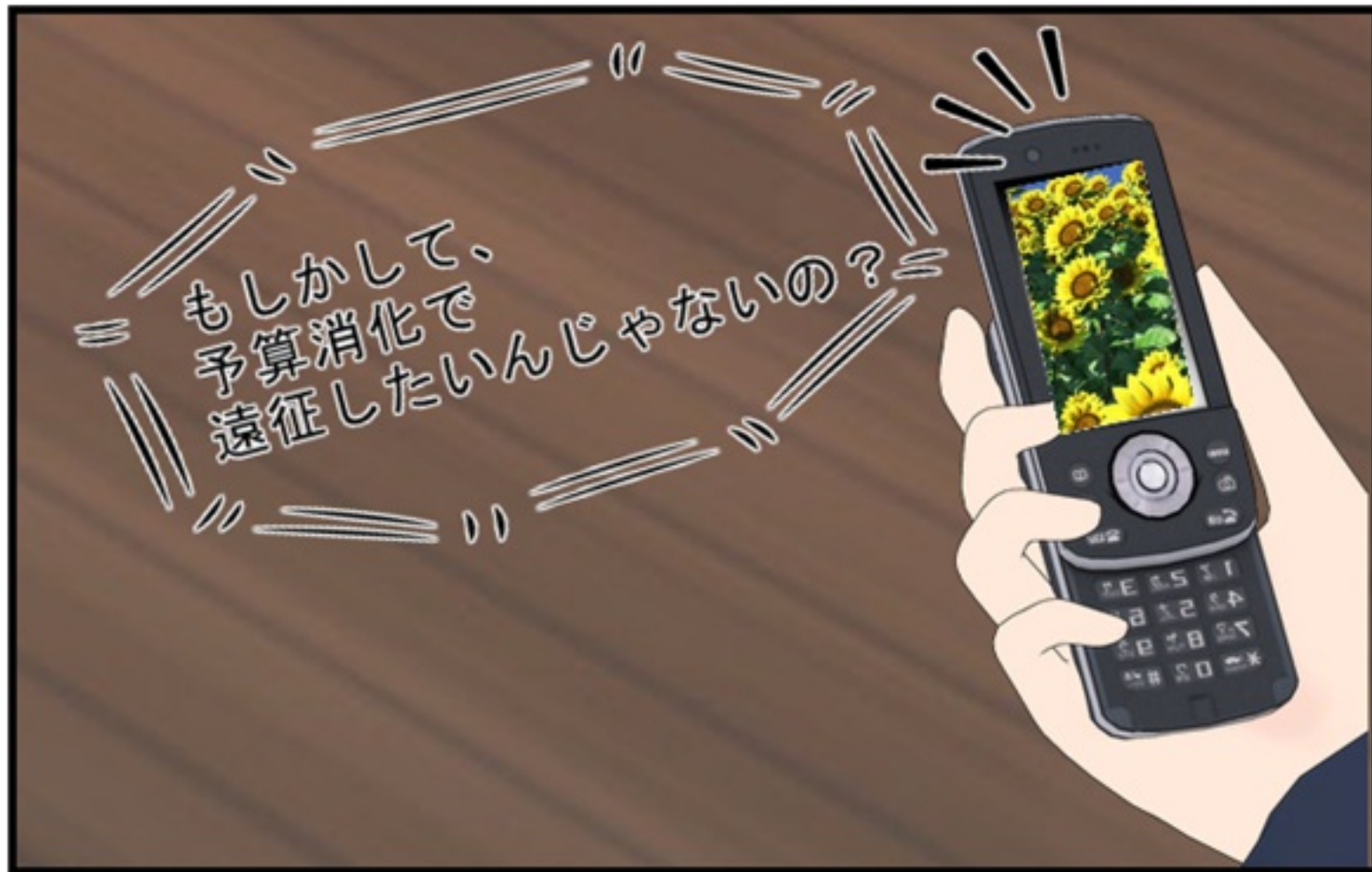
うん。

うん。



いやいや、こっちから行くって。
ホントホント。

いや。
いいっていいって



生徒会室

どいつもこいつも

生徒会長 上原けやき

あなた方、何考えてんの。
生徒会費は一緒なんだから
みんなに増額できるわけ
ないでしょ！
それを揃いも揃って！

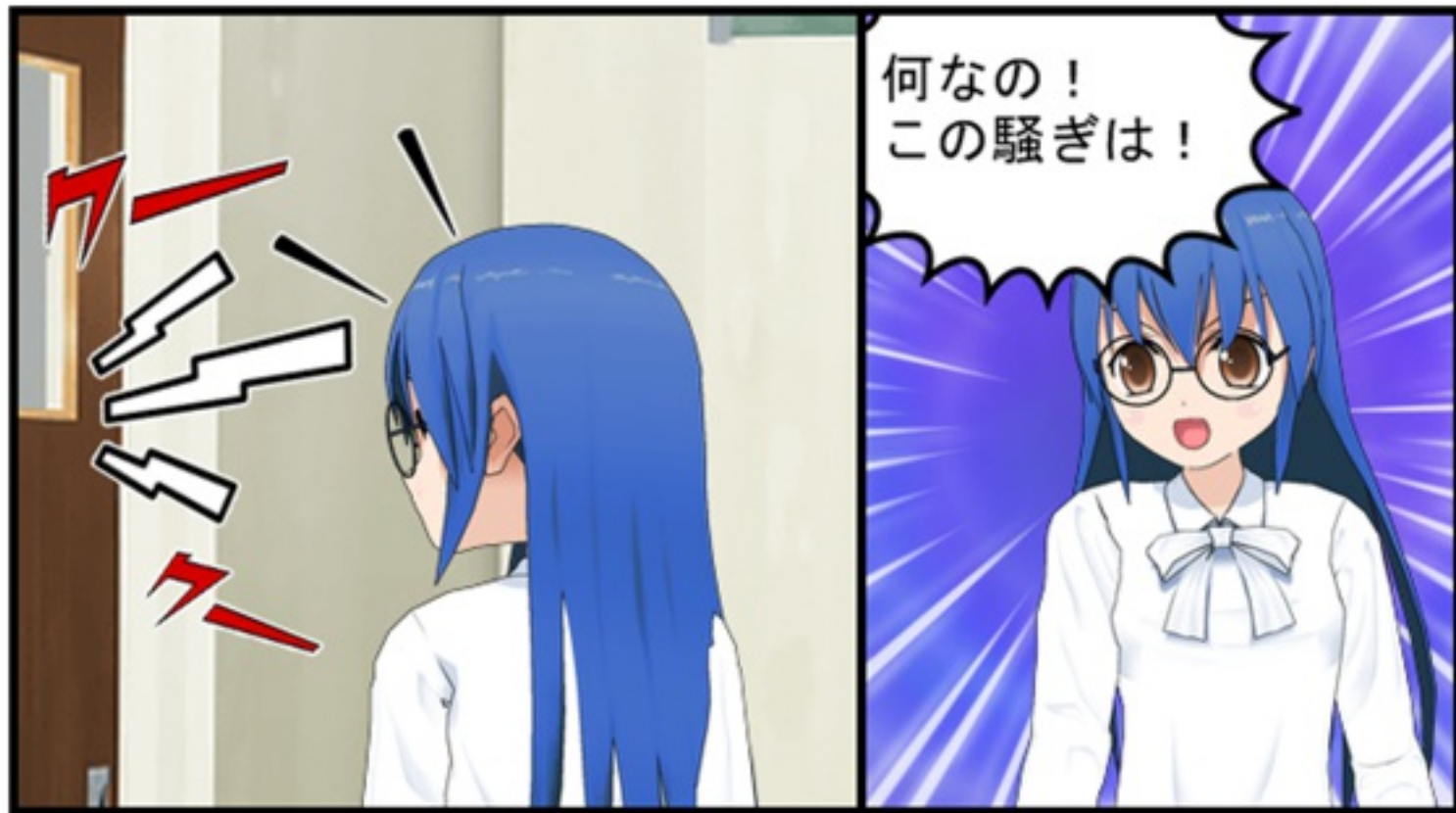
特に運動部総括！文化部総括！
そのことを一番わかってるのに、
馬鹿なの？嫌がらせなの？

副会長！
各部長を集めなさい
運動部と文化部の
総括もよ！

は、はい！

副会長 玉川茜





何なの！
この騒ぎは！



これはまさに
財政錯覚ね。



財政錯覚？



カク
カク



クシ
カシ
カ



カ



財政錯覚とは、受益と負担が
切り離されてコスト感覚が
なくなること。

例えば、部の活動費を
全部、部員からの集金で
まかなうとしたら、
本当に必要なものにお
金を使おうとするわね。

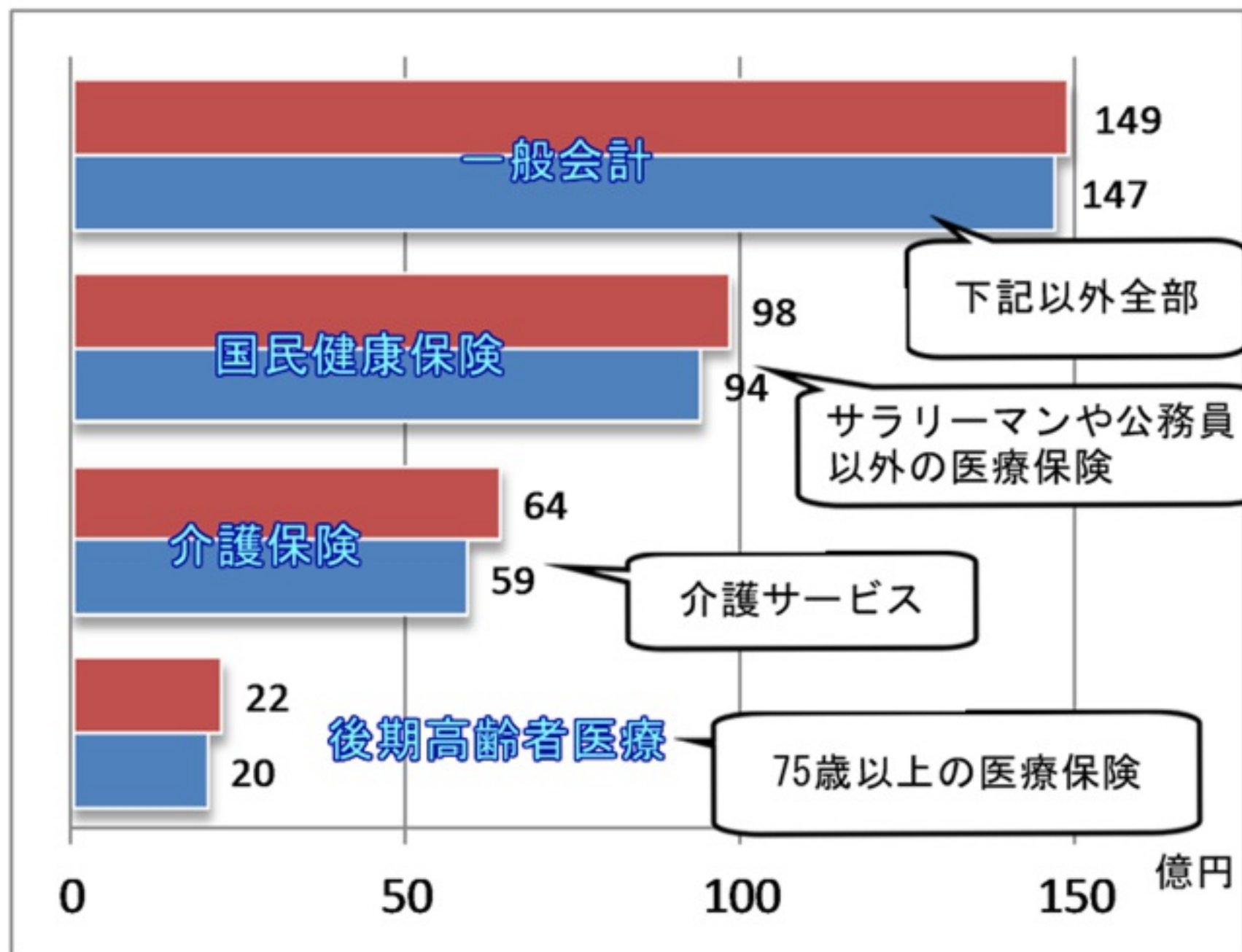
お金が足りなくなったら
またお金を集めないとい
けないけど、説明するの
も大変だし、確かにそ
うだな。



Section 2 小金井市の財政～福祉関係を中心に

289億円

平成23年度の決算総額



上段平成24年度予算、下段平成23年度決算

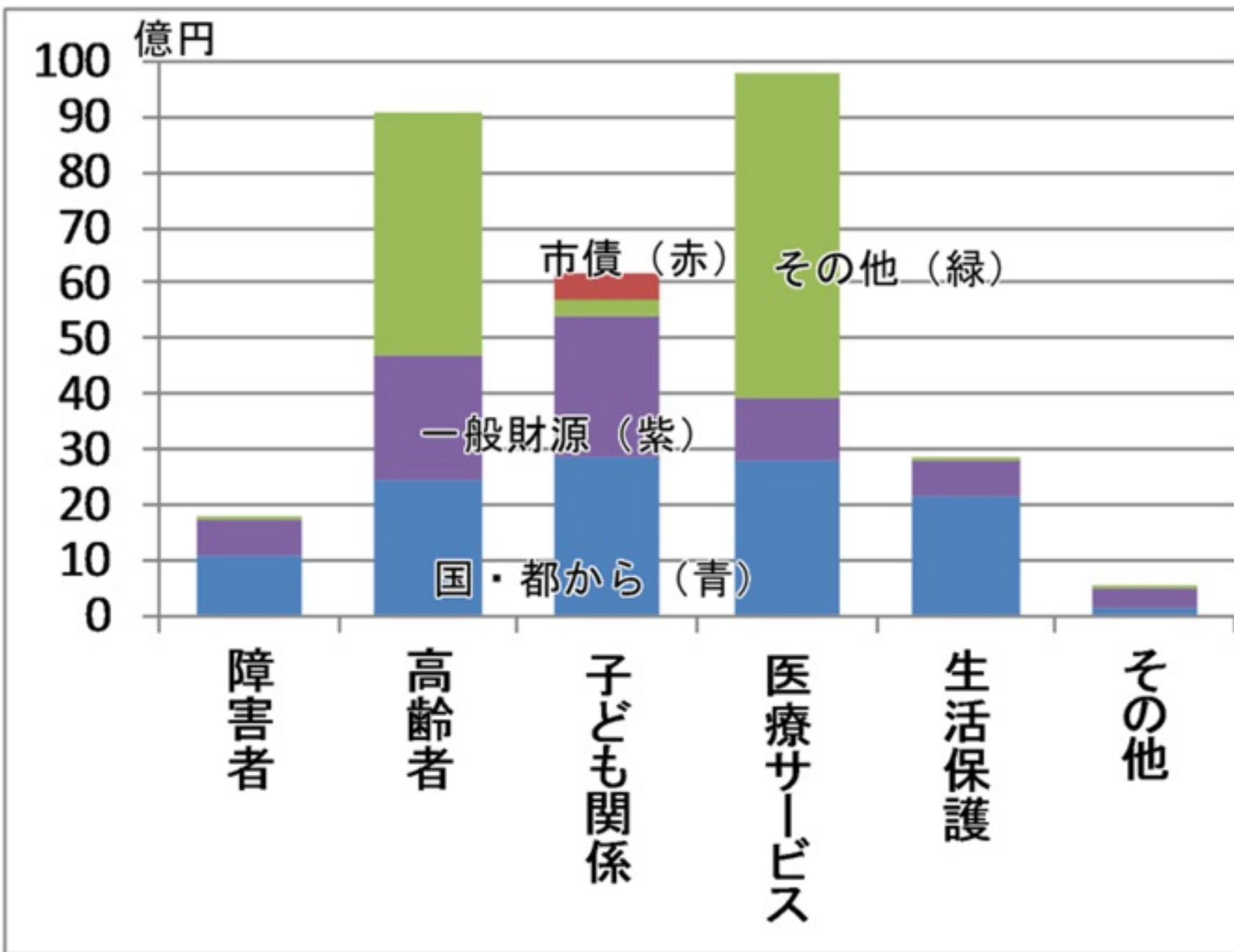
福祉関係は、一般会計だけではなく、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の特別会計からも支出されています。重複分を除くと平成23年度は289億円、平成24年度は301億円にのぼります。一人あたりにすると平成23年度は25万円、平成24年度は26万円。



76億円 / 301億円

一般財源 / 福祉総額 @ 平成24年度

福祉関係の財源



多いのは
医療サービス (国民健康保険) 98億円
高齢者 (介護保険、後期高齢者含む) 91億円
子ども関係 61億円

平成24年度の福祉費用301億円の財源は
一般財源が76億円。
国や都から115億円。
その他106億円、そのうち保険料50億円
市債4億円。

国・都の割合が
多いのは生活保護や
障害者関係。
実は一般財源が多い
のは子供関係。



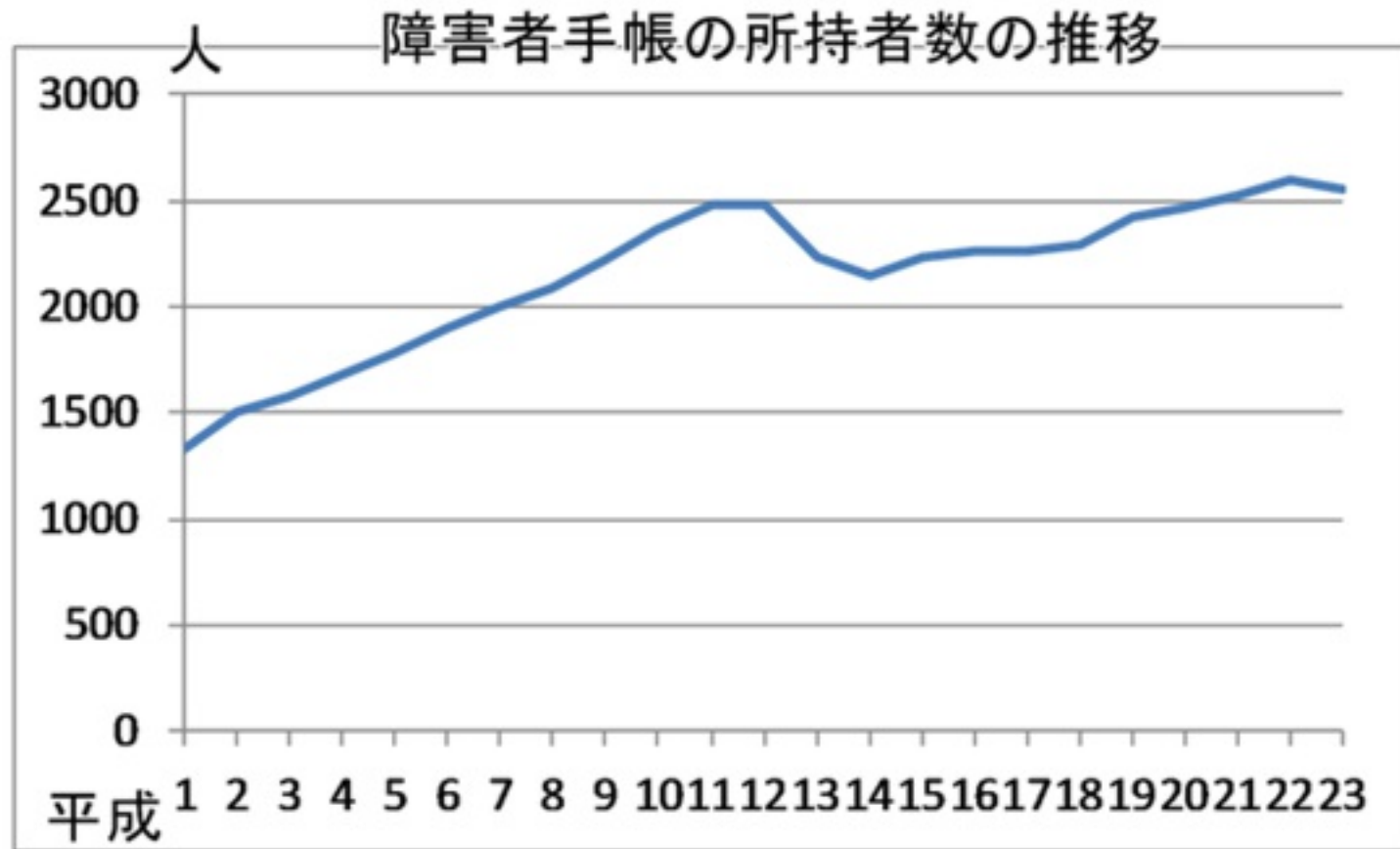
平成24年度予算より 福祉関係の予算と財源
一般会計と特別会計を合計。

「国・都から」はそれぞれの福祉の費用に当てるための補助。
一般財源とは市税など用途が定められていない財源。
その他は主に保険料又は社会保険診療報酬支払基金からのお金。
市債は借金のこと。

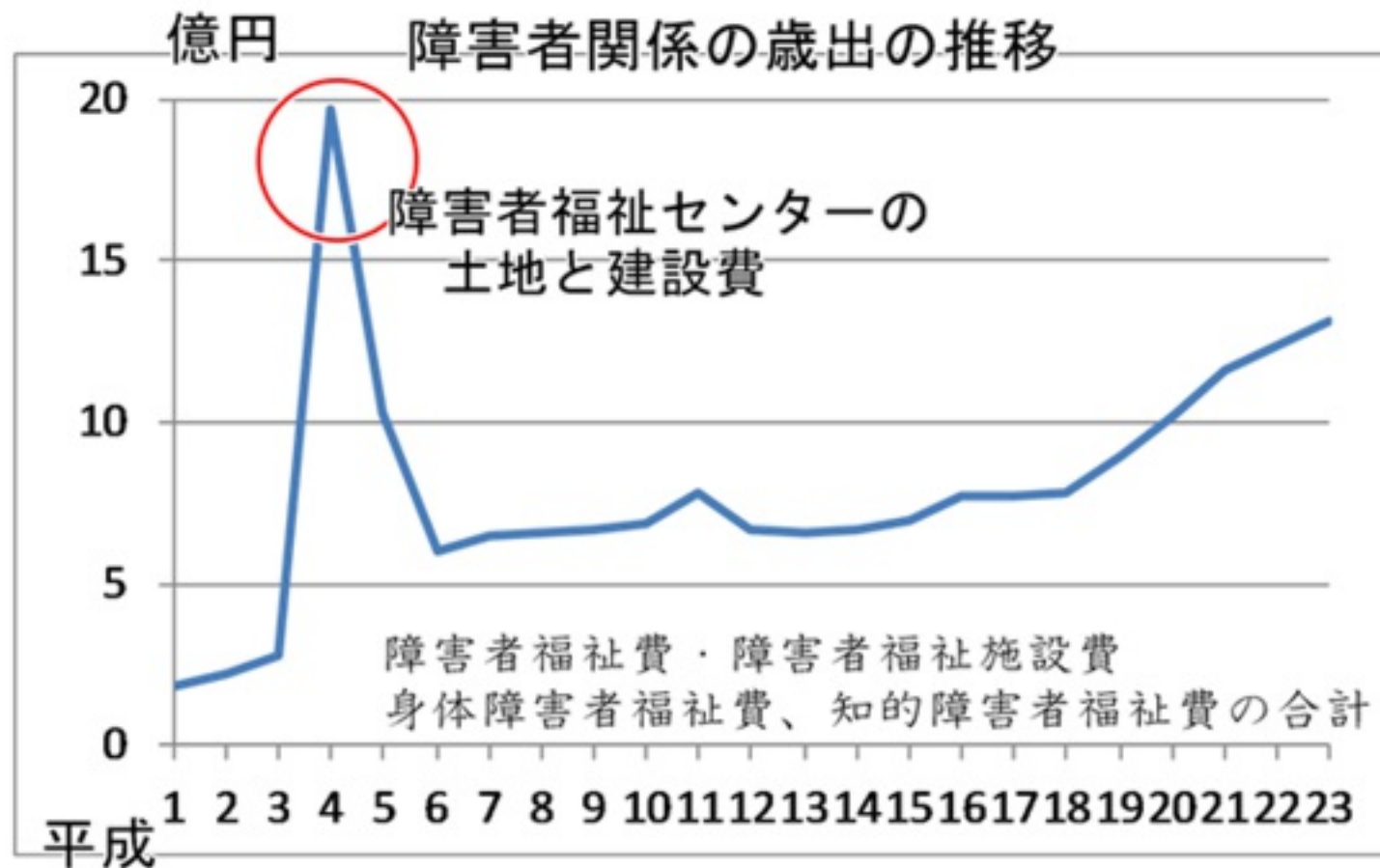
2558人

障害者手帳所持者数@平成23年度

障害者関係



身体障害者は2558人、市民の2%以上だから意外と多いわね。
実は身体障害者のうちの半分以上（1428人）は70歳以上、半分近く（1270人）が肢体不自由。つまり、今後高齢化が進むに従い障害者の数もそのための費用も増えそうね。
その他愛の手帳所持者（知的障害者）523人
精神障害者保健福祉手帳保持者が514人いるわ。



平成23年度で多いのは

介護給付経費	約6.0億円
訓練等給付経費	約2.4億円
心身障害者福祉手当	約1.9億円
障害者福祉施設費	約1.1億円
地域支援事業	約1.0億円

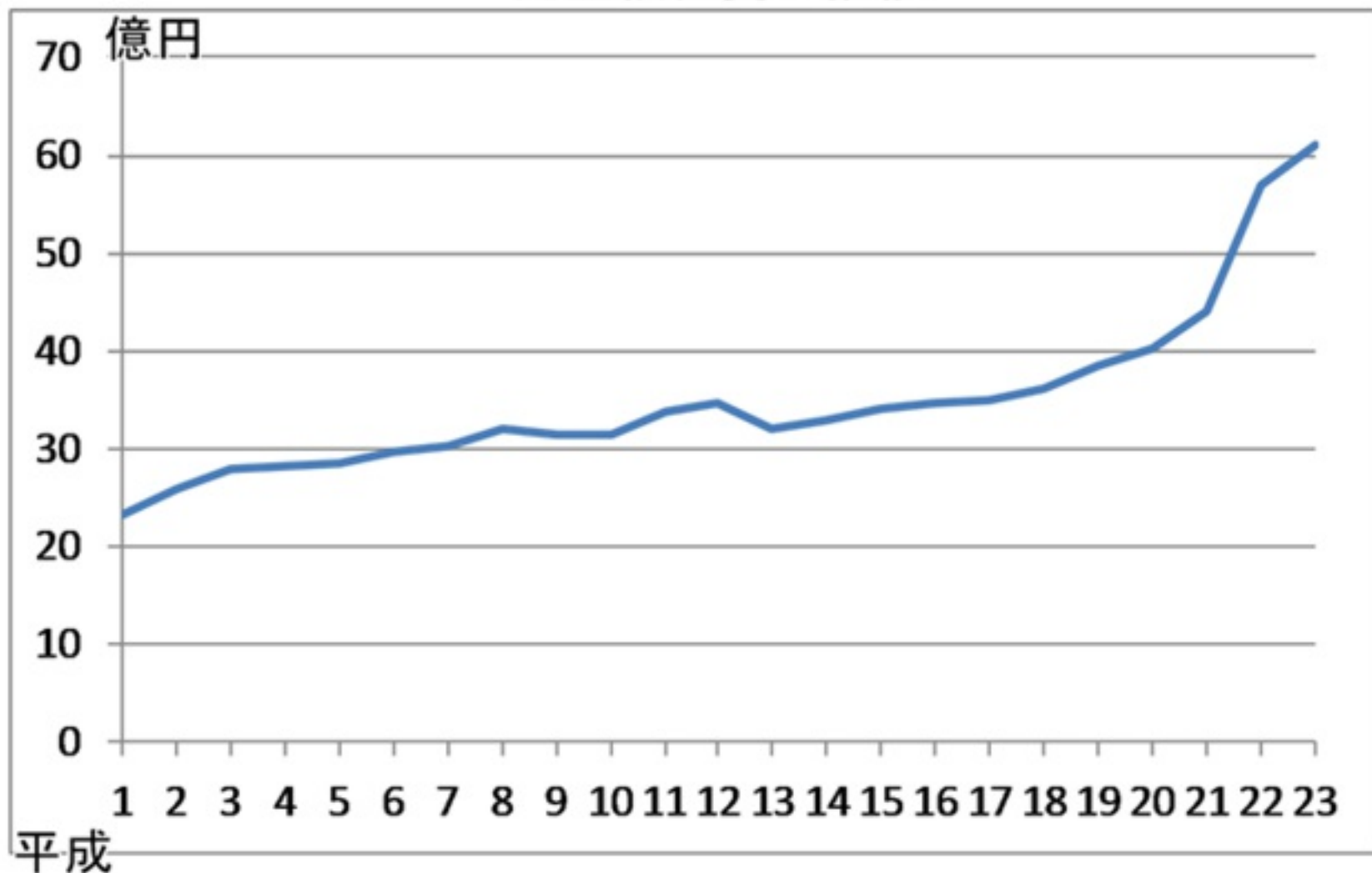
それぞれの解説は
Blogの本文を見てね。



61億円

児童福祉費@平成23年度

児童福祉費の推移



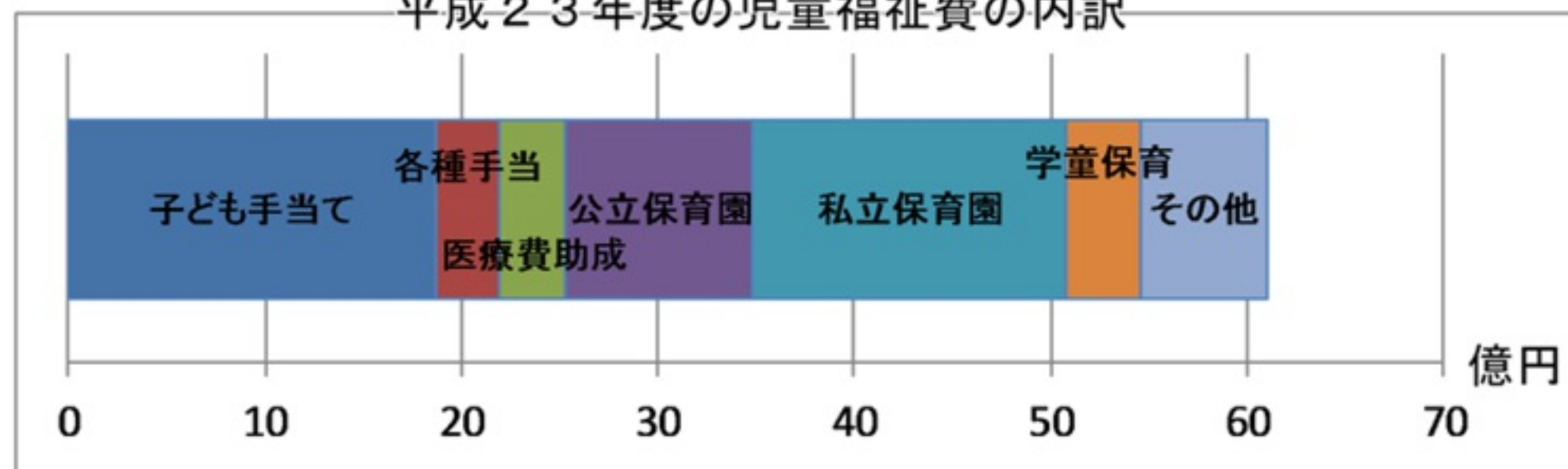
児童福祉費が平成22年度から急増しているのは子ども手当が始まったため。

平成23年度で多いのは、子ども手当 18.7億円
 私立保育園への補助 16.0億円、
 公立保育園の費用 9.5億円、
 その他 6.4億円 (主に人件費)
 学童保育 3.8億円
 ~平成23年度は建設費があり、通常は1億円程度
 医療費の助成 3.3億円
 各種手当 3.3億円

ちなみに年度初の
 14歳以下の人口は
 13,757人
 5歳以下は5,276人

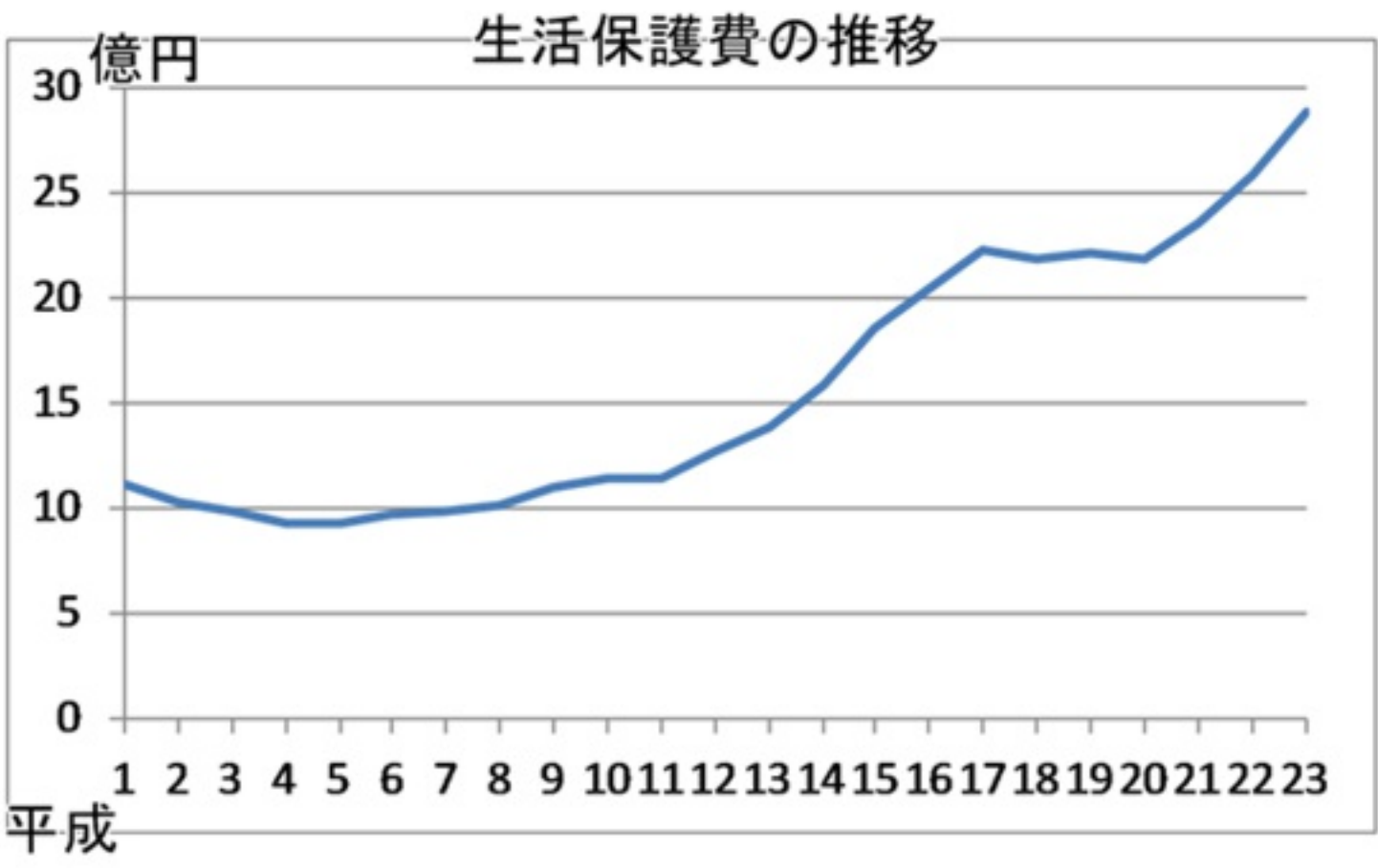
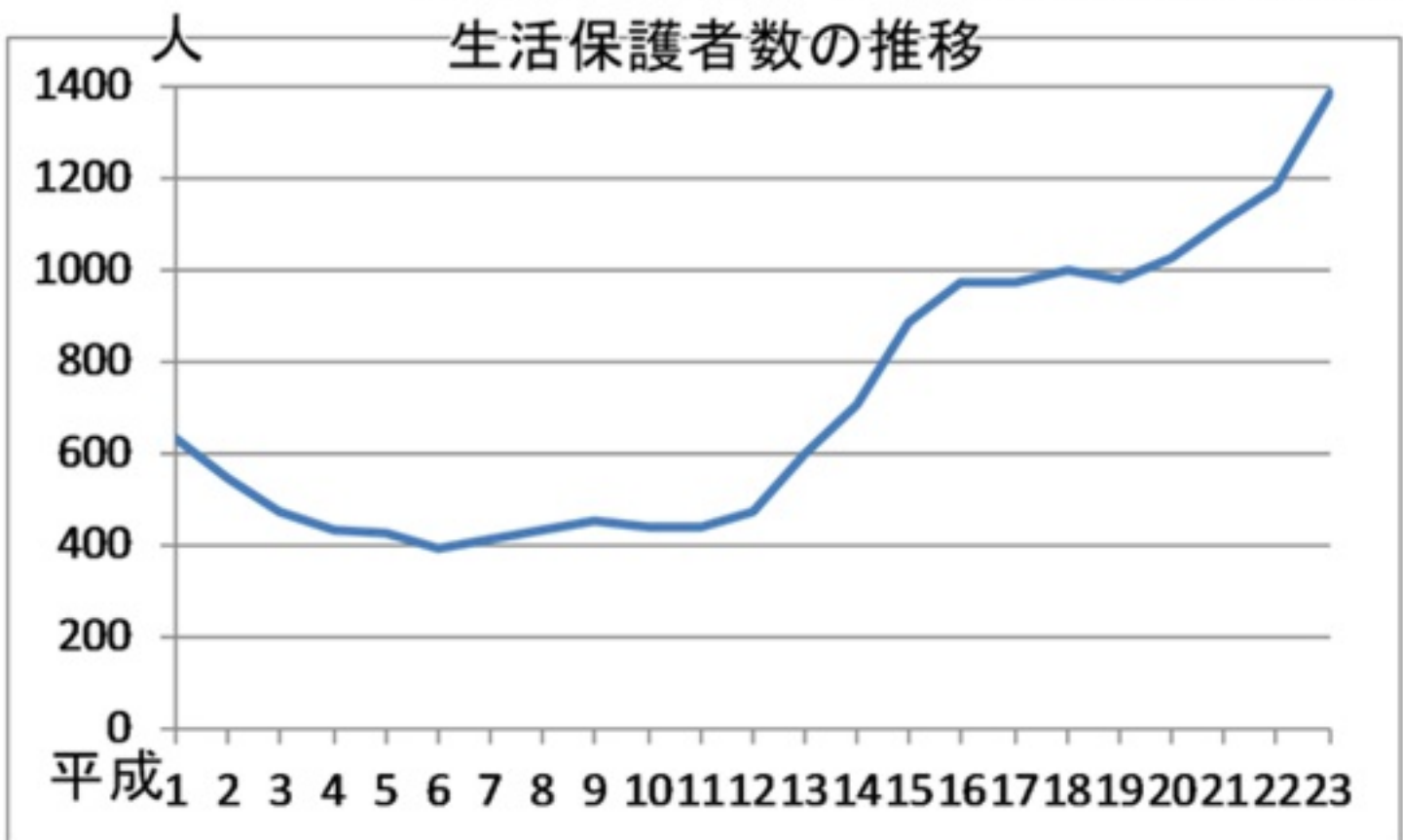


平成23年度の児童福祉費の内訳



1384人 / 28億円

生活保護者数 / 生活保護費 @平成23年度



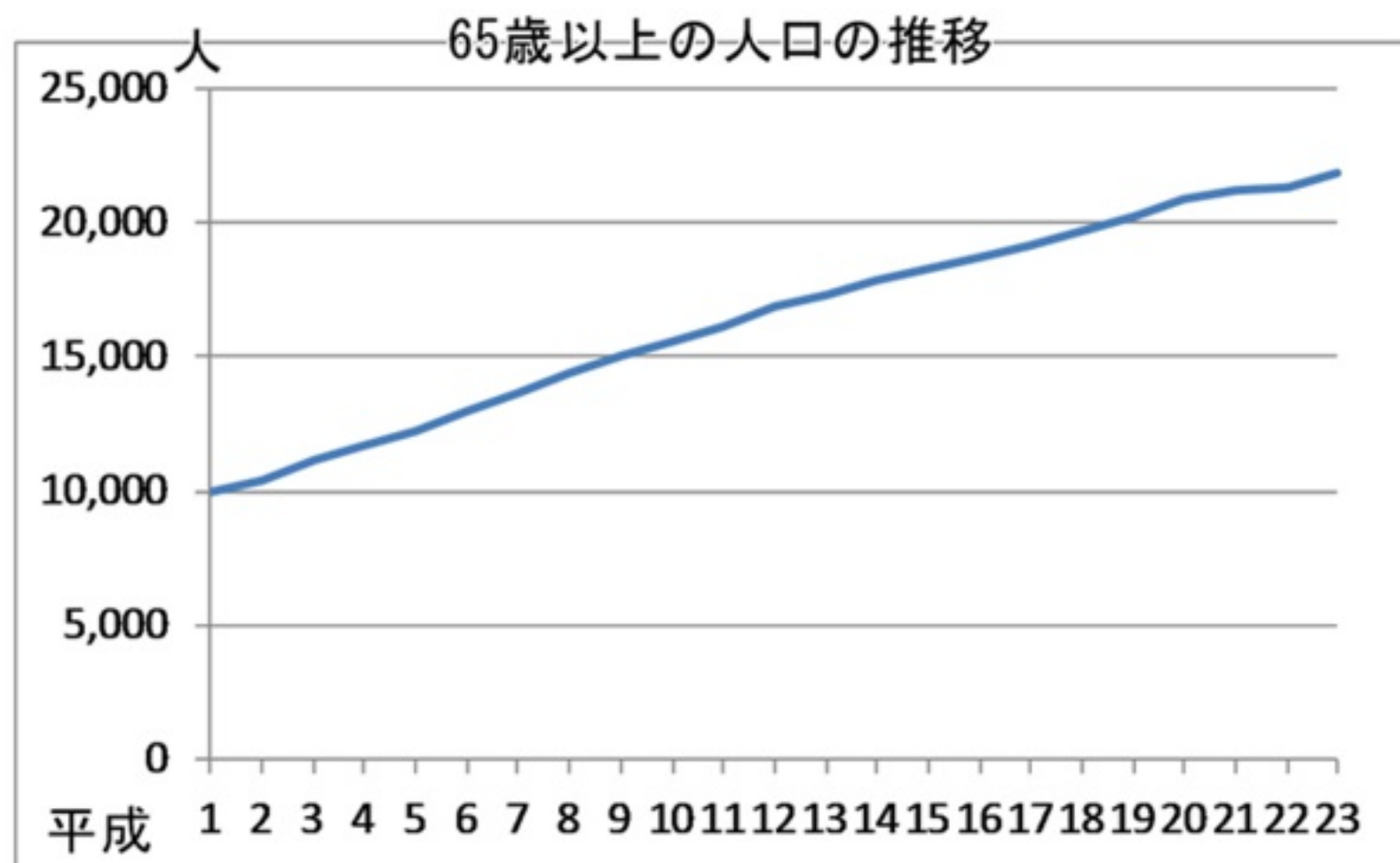
生活保護者数は平成13年頃から急増し、平成21年頃からさらに増加しています。それに伴い、生活保護費も増えていきます。一人あたりの生活保護費は219万円、非常勤嘱託の一人あたりの報酬費がそれぐらいですね。

なお、被保護者のうち約半数が60歳以上全国的にも同じ傾向のようです。

生活保護には、
 生活扶助（生活費を支給）
 教育扶助（義務教育費用を支給）
 住宅扶助（家賃の支給）
 医療扶助（医療費を支給）
 介護扶助（介護給付の自己負担等）
 出産扶助（出産費の支給）
 生業扶助（高校の教育費、小規模事業のための費用など）
 葬祭扶助（葬祭費の支給）
 が多いのは医療扶助で43%、あと生活扶助（33%）と住宅扶助（22%）で98%を占めているわ。

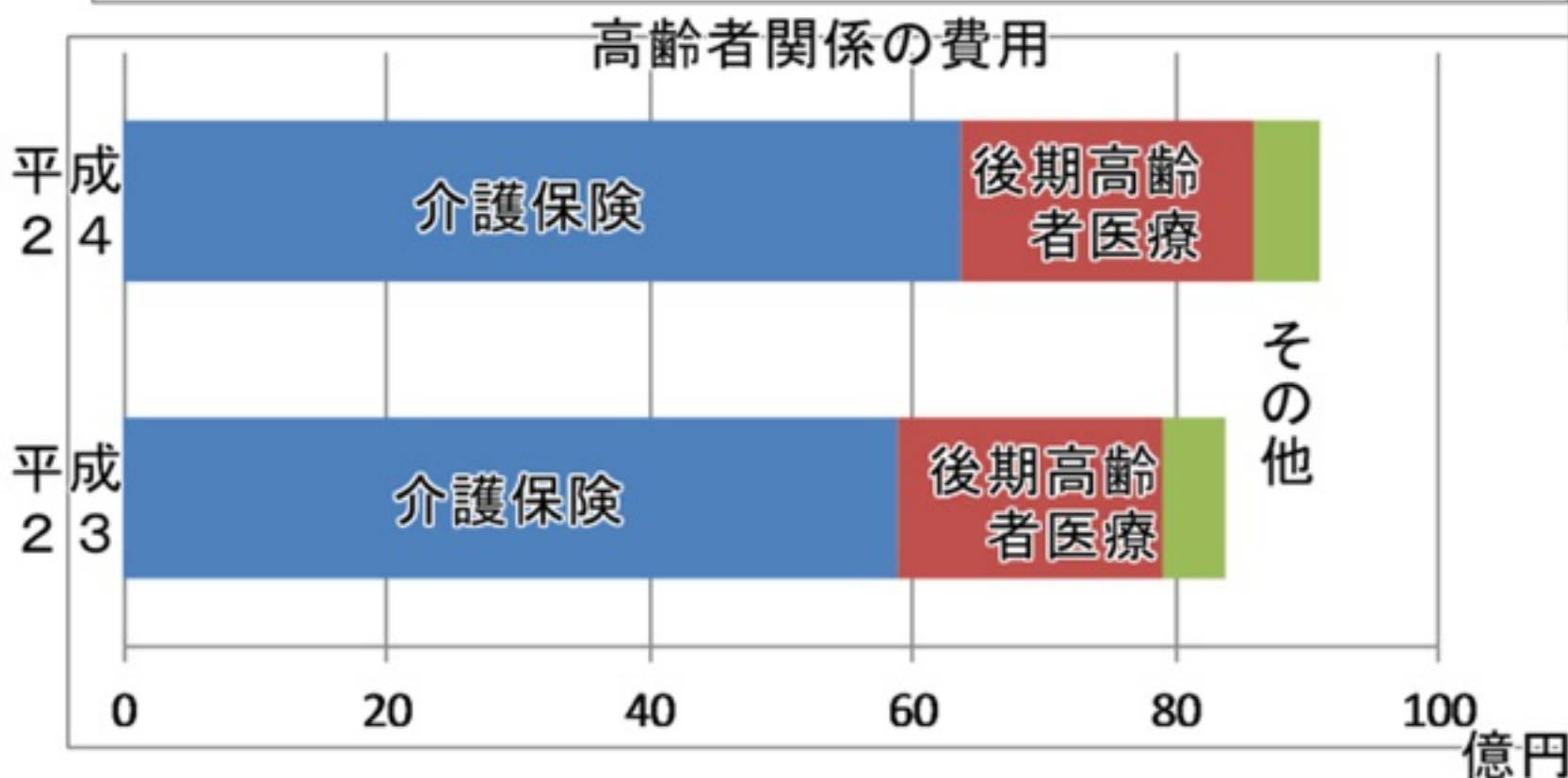


19.2% 高齢者人口比率 (平成23年度)



65歳以上の人口は直線的に増えており、今後も増えると予想されています。なお高齢者人口比率はどちらかというと低い方 (全国23.3%、都20.7%)

高齢者関係の歳出のほとんどは介護保険 (59~64億円) と後期高齢者医療 (20~22億円) の特別会計。その他は約5億円。特別会計については後日くわしく説明します。



その他の主なものは
 高齢者住宅事業約2.2億円
 特別養護老人ホームの補助約6千万円
 シルバー人材センター約4千3百万円
 老人施設措置費 約3千万円
 など



246人+146人

福祉関係の一般職員数+非常勤嘱託等職員数（平成24年度予算書より）

民生費は小金井市では
社会福祉費、児童福祉費、生活保護費
国民年金事務費に分類されます。
ここでは社会福祉費のうち障害者・高齢者
関係以外のものと国民年金事務費を
取り上げます。

その他のカテゴリーで多いのは
人件費1億9千5百万円
社会福祉協議会への補助 7千6百万円
福祉会館の費用 4千6百万円
国民年金事務費 3千3百万円
住宅手当緊急特別措置事業 3千3百万円
など

あとがき
なんだかんだと第1回から
約一ヶ月たってしまいました。
月刊ならなんとかと思っていたのに、
思いの外苦戦です。
次回は国保などの保険関係をまとめる
予定ですが、前半のネタがないので
場合によっては後半のみの
掲載になるかもしれません。
次回は12月前半を目標でがんばります

その他についてはもう書くことがないので
福祉関係の職員数を紹介します。

一般職員数は約700名なので、
約35%が福祉関係。
非常勤嘱託は約270名なので半分超が
福祉関係ということになります。

保育園が一般職110人、非常勤58人と
福祉関係の4割を占めています。
あと多いのは一般職では児童福祉58人
（このうち半分は学童保育と思われる）
社会福祉一般27名、介護保険21名
といったところ。

